

町の無形民俗文化財である金多豆蔵人形劇を後世に残すため、町ではJR東日本グループ・東日本鉄道文化財団の「地方文化事業支援」を活用し、傷みが激しい人形を新調・修繕します。6月30日(木)には、町総合文化センターパルナスで関係者ら約10人が集まり事業の承認証贈呈式を行いました。

町長は「地域に伝わる伝統文化である金多豆蔵人形芝居劇。これを継承する支援をしていただき、大変感謝している」と述べました。

金多豆蔵人形芝居劇は、JR東日本で7月16日(土)から運行を開始したJR五能線「リゾートしらかみ」の新型車両「撫」内で地域の観光コンテンツとして実演しています。



新型車両「撫」



車両内で劇を実演

企画展の開催を祝して

博物館でオープンセレモニー

世界各国の土器・貨幣・雑貨・衣装などの収集家として有名な佐々木高雄氏(NPO法人アートコアあおもり(naca)理事長)が所有するコレクションの企画展が、7月23日(土)より町博物館で始まりました。

その日は、企画展の開催を記念してオープンセレモニーが催され、小野町長をはじめ、佐々木高雄氏、明の星短期大学の石田一成学長、大川館長が出席しテープカットを行いました。



その後、佐々木高雄氏による展示説明会が行われ、来場者らは耳を傾けながら独特の造形美を誇る貨幣・盾・彫刻などを眺めていました。

この企画展は、9月25日(日)まで開催しております。博物館では、佐々木高雄氏の所有する雑貨や衣装などの企画展を5年間で10回予定しています。



展示物の説明をする佐々木氏

